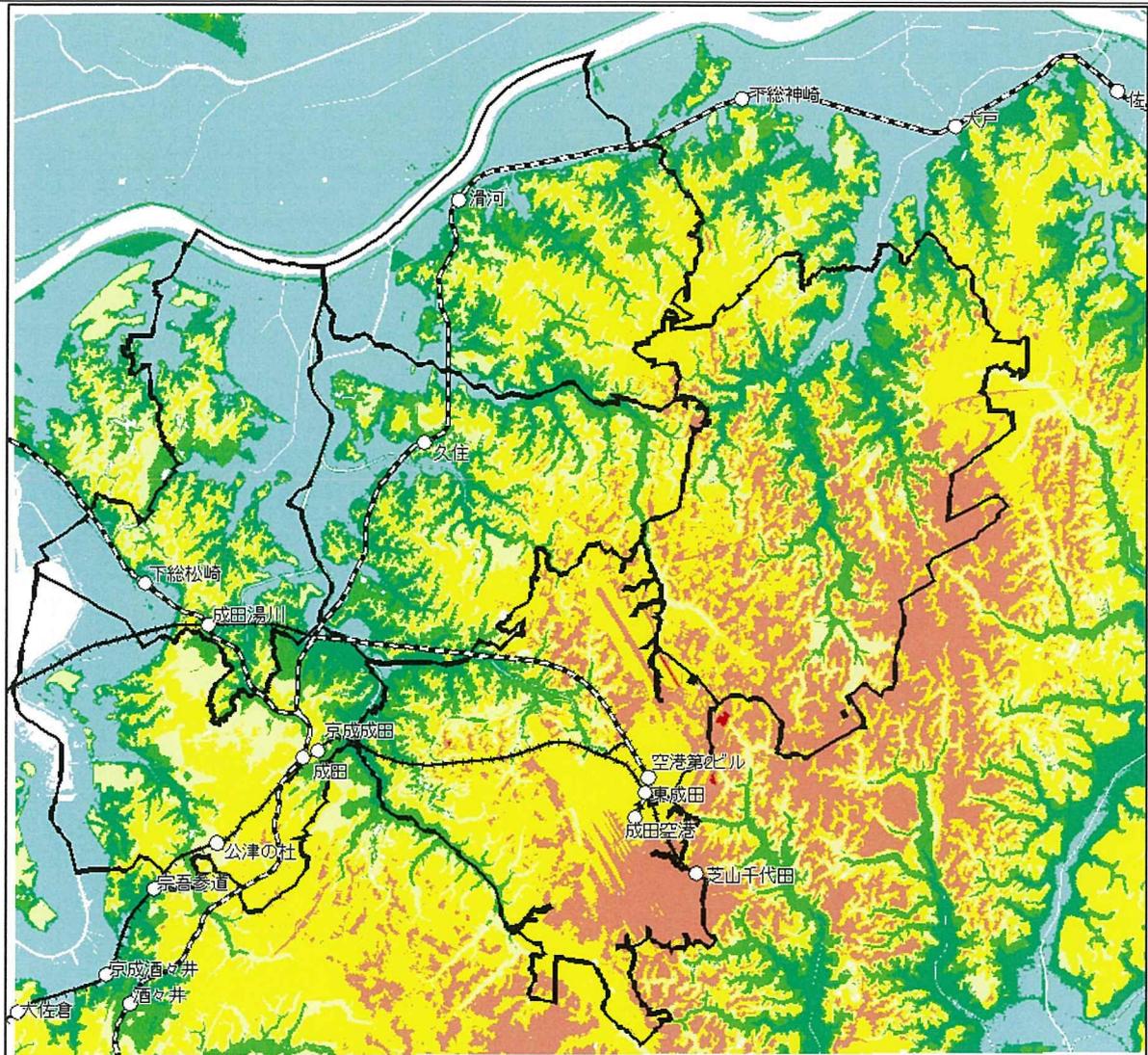


2. 地域の現状等の把握・分析・整理

2.1 地勢・地理

2.1.1 地形条件

・成田市の地形は、主として、東部と南部が下総台地上にあって、標高が概ね20mから50m、北部と西部が利根川と印旛沼沿いの低地となっている。



凡例		標高【m】			
	JR線		0 以上 5 未満		30 以上 40 未満
	私鉄		5 以上 10 未満		40 以上 50 未満
	鉄道駅		10 以上 20 未満		50 以上
			20 以上 30 未満		

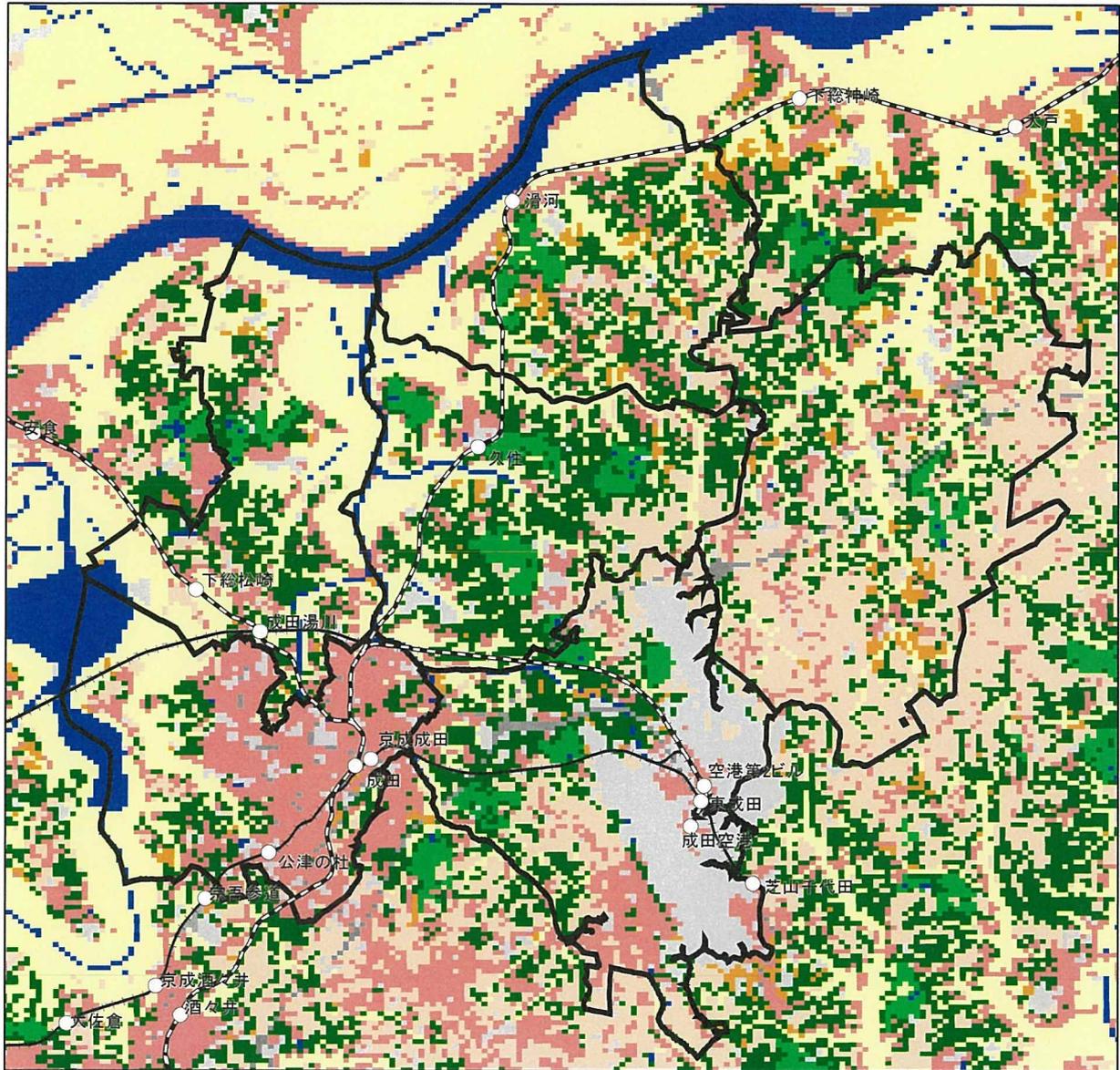
出典：基盤地図情報

図 1 成田市及び周辺地域の地形条件

2.1.2 土地利用

(1) 土地利用

・成田駅及び京成成田駅周辺の市中心部は建物用地が多く市街地が広がっており、利根川、根木名川の周辺には田が広がっている。また、ゴルフ場や森林も多く点在している。



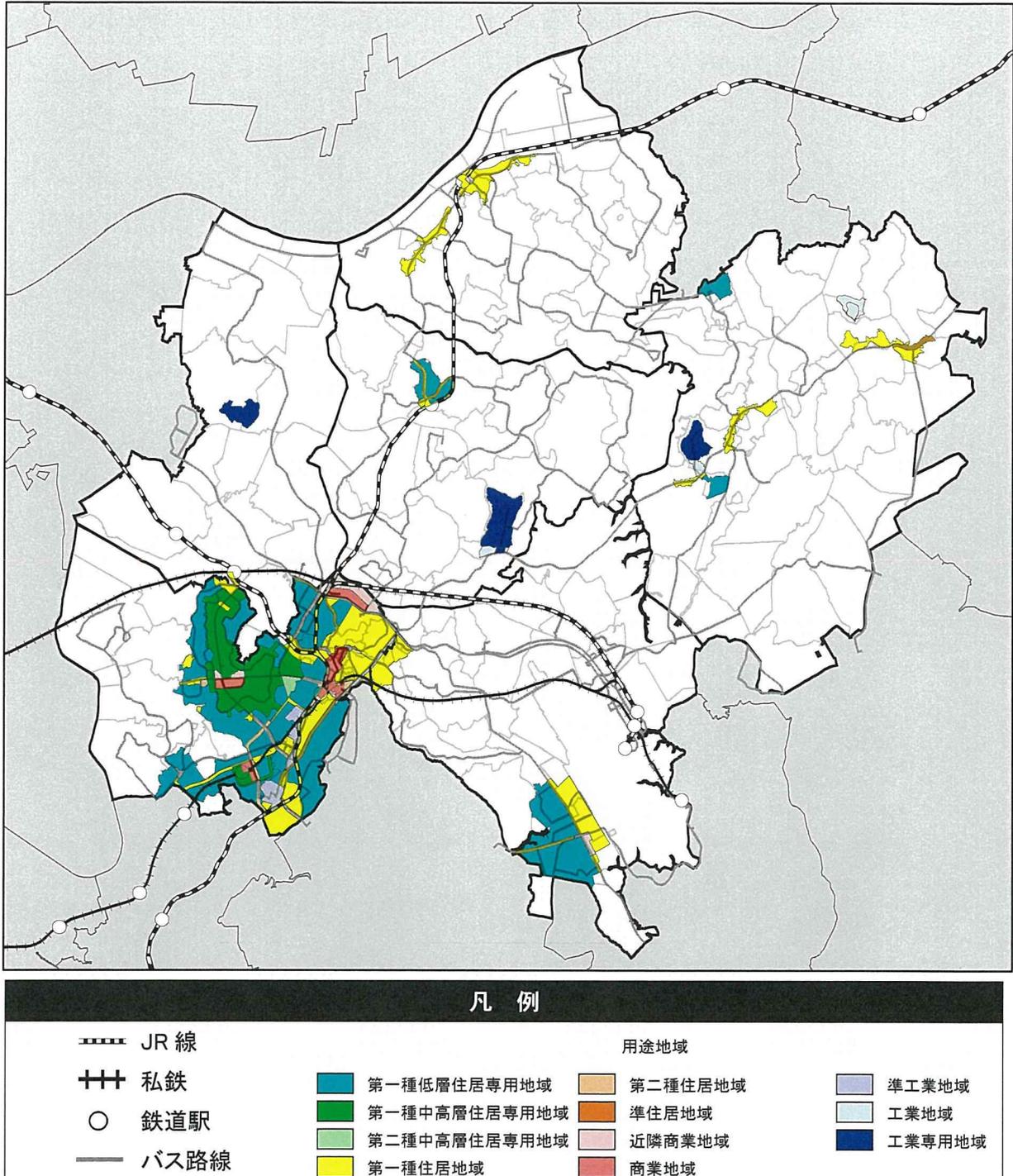
凡例		土地利用種別と面積【ha】	
==== JR線		田	5,121 ha
+++ 私鉄		その他の農用地	3,550 ha
○ 鉄道駅		森林	4,667 ha
		荒地	422 ha
		建物用地	3,266 ha
		道路	212 ha
		その他の空港などの用地	1,782 ha
		河川池及び湖沼	786 ha
		ゴルフ場	709 ha
		※面積は土地利用細分メッシュの面積より計算	

出典:平成 26 年度土地利用細分メッシュ 国土数値地図情報

図 2 成田市及び周辺地域の土地利用状況

(2) 用途地域

・成田駅及び京成成田駅周辺の市中心部とその周辺は、商業系・住居系用途が指定されている。豊住、中郷、大栄地域の一部は工業専用地域に指定され、工業団地が立地している。



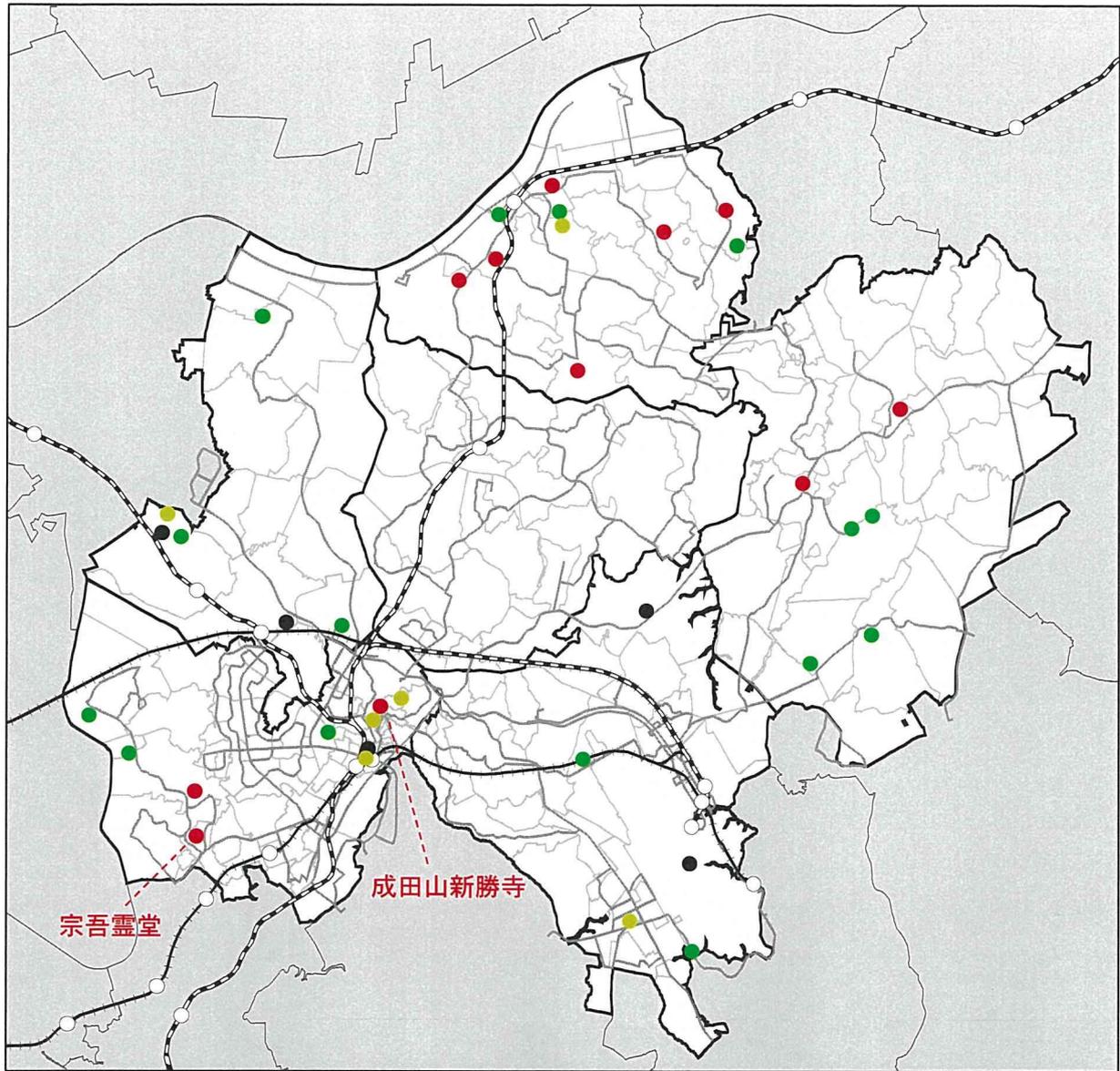
出典:成田市資料

図 3 成田市の都市計画用途指定状況

2.1.3 観光資源

(1) 市内の観光資源

・成田山新勝寺や宗吾霊堂などの神社・寺院をはじめ、市内に多くの観光資源が点在している。



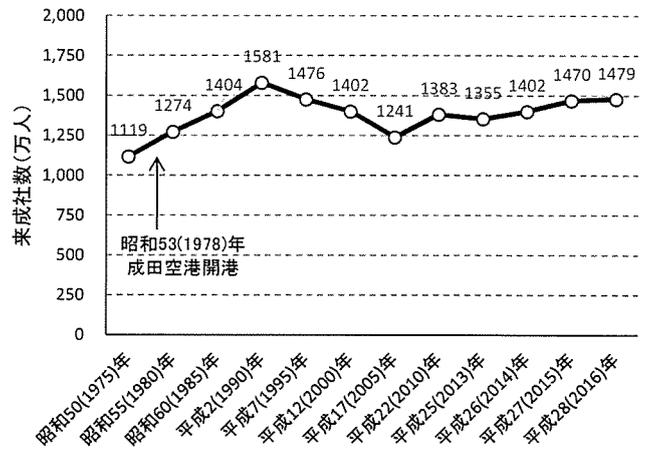
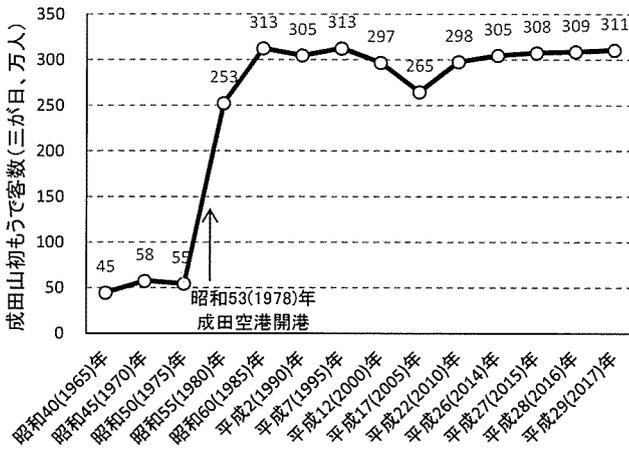
凡 例	
==== JR 線	● 観光施設
+++ 私鉄	● 神社・寺院
○ 鉄道駅	● 文化施設
— バス路線	● 公園・スポーツ・レジャー施設
	● その他観光施設

出典:成田市観光協会「成田市観光パンフレット」

図 4 成田市の観光資源

(2) 観光入込客数の推移

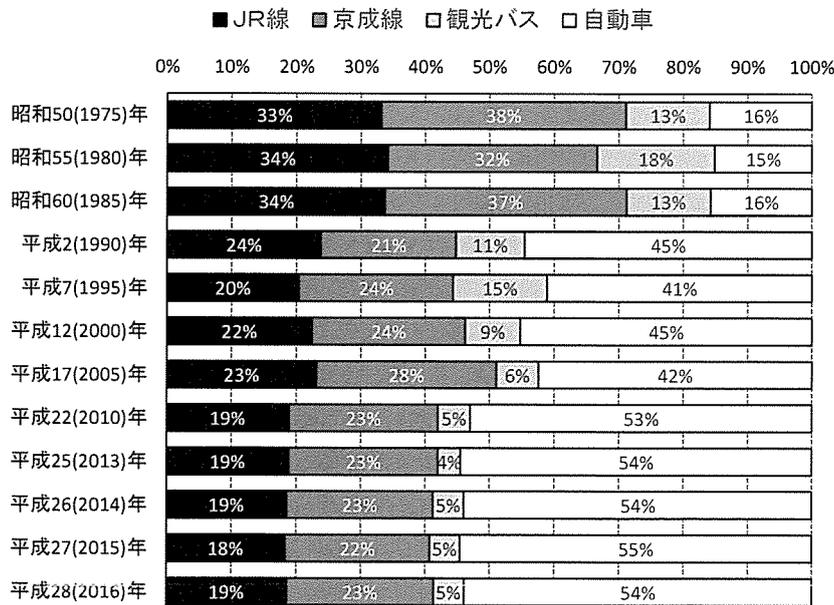
- ・成田山新勝寺の初詣客数をみると、成田空港開港以降、急激に初詣客が増加し、それ以降は、平成17年に大きく減少したものの、おおむね横ばい傾向となっている。
- ・来成者数は、平成2年の1,581万人をピークに減少傾向にあったが、平成22年に増加に転じ、それ以降概ね増加傾向にある。
- ・成田市来訪時の交通手段は、平成2年に自動車割合が45%と大幅に増加し、平成28年では54%まで更に増加している。



出典:成田市統計書

図5 成田山新勝寺の初詣客数の推移

図6 来成者数



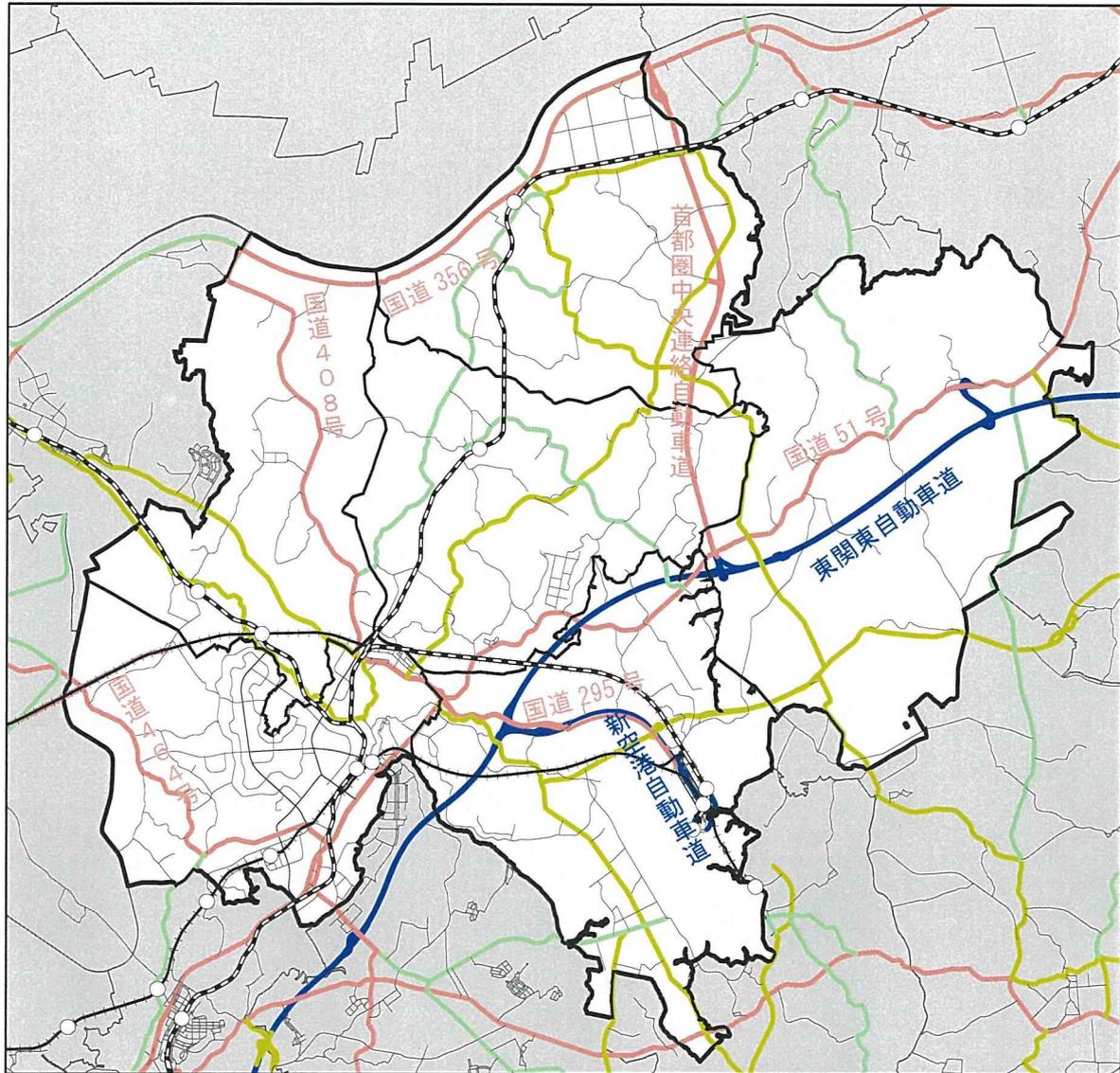
出典:成田市統計書

図7 交通機関別来成者割合

2.1.4 道路整備状況

(1) 道路種別・道路網配置状況

- ・成田市は、東関東自動車道、首都圏中央連絡自動車道が東西・南北を貫き、東京方面や関東各地域、また、常磐道や東北道などを経て全国各地へのアクセスが良好である。
- ・また、成田空港へアクセスする新空港自動車道が整備されている。
- ・成田市内には、国道51号、国道356号、国道464号が骨格を形成し、これらと主要地方道、一般県道により、市内の道路体系が形成されている。



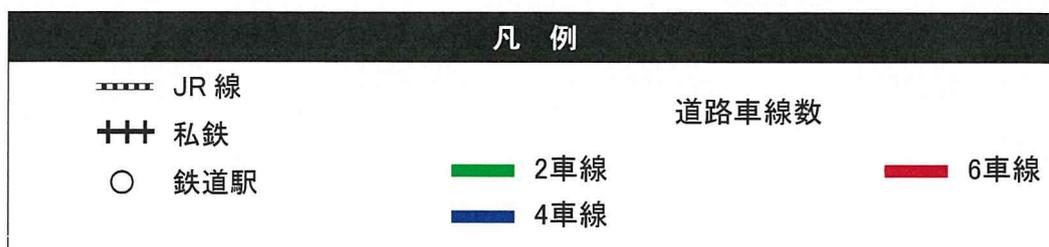
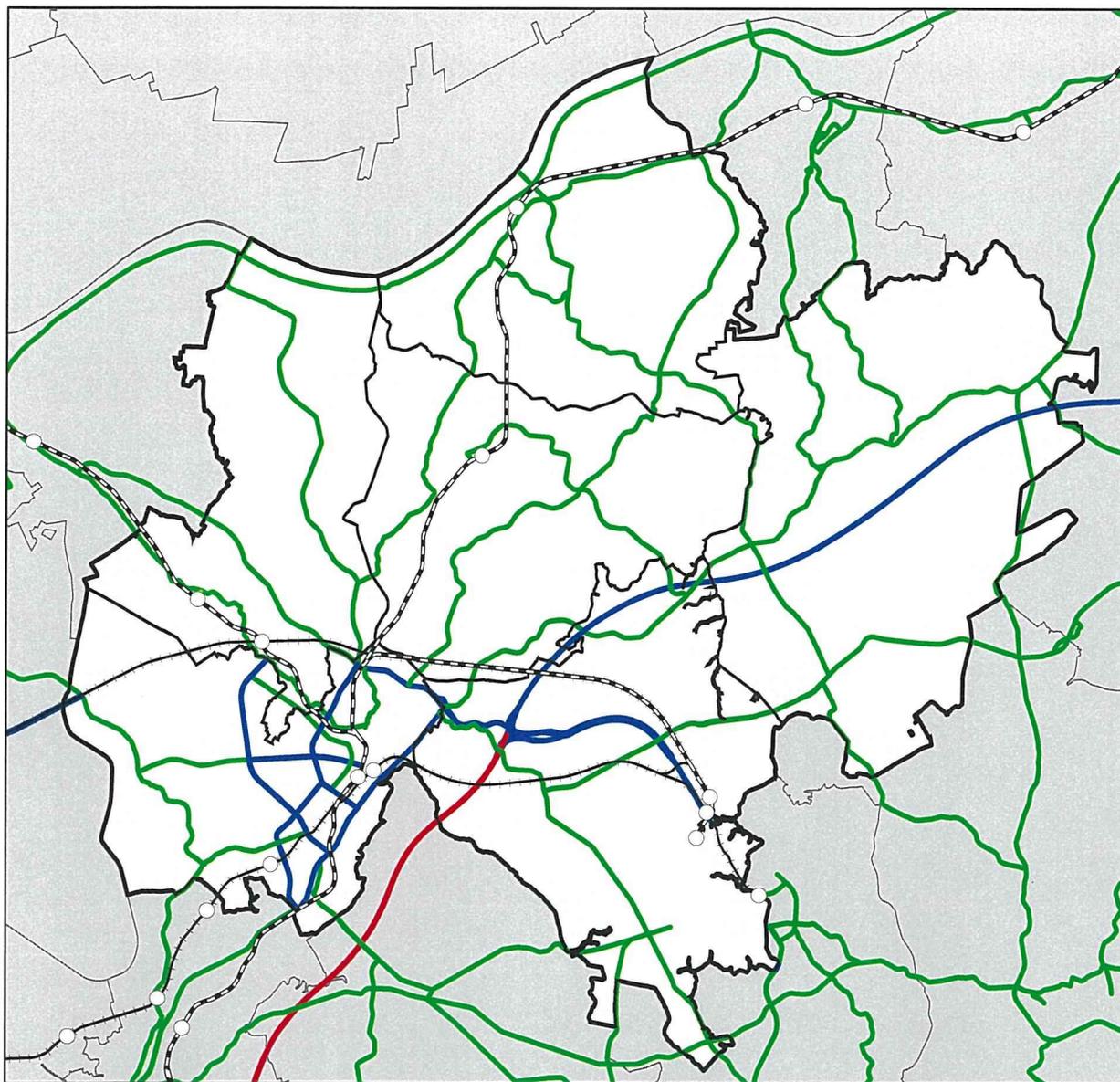
凡 例	
-----	JR 線
++++	私鉄
○	鉄道駅
———	高速道路
———	国道
———	主要地方道
———	一般県道
———	市道

出典：DRM データ(平成 29 年 3 月時点)

図 8 成田市及び周辺地域の道路網

(2) 道路車線数別・道路網配置状況

・成田市内の一般道路は、市中心部の一部の道路が4車線であるほかは、2車線である。



出典:DRM データ(平成 29 年 3 月時点)

図 9 成田市及び周辺地域の道路の車線数